

組織現勢 (10月1日現在)

組合員数 20,081人
出資口数 111,302口
9月の新規加入 9人
9月の増資口数 157口

No. 397 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所 城南保健生活協同組合

本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
TEL (3762) 0266
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
口座 (普) 0469459
発行 「城南の保健」編集委員会
年10回発行・定価1部 30円



よりよいケアのために学び合います

城南保健生協の介護職員は、学んで力をつけています
毎年恒例のヘルパーステーション全職員による研修会を9月16日に行いました。

今年も行いました ヘルパーステーションずらん「第7回全体研修会」(かがやき事例発表会)を開催

各事業所からすばらしい事例報告が
① 自分からあまりお話をすることがなかった方が、介護ヘルパーが「会話に間が必要なのではないか」の気づきから、コミュニケーションが多くとれるようになり、笑顔が増えた。
② 食事を自分でうまく摂れない方へ、食事前にいっしょ

事例報告の後グループワーク
4つのかがやき事例発表の後、グループに分かれて、感想、意見を出し合いました。

引き続き学んで・考えて・共有してすばらしい
介護事業所に
今回の研修会に参加して、介護ヘルパーさんはすごい！って改めて感じました。城南保健生協の介護ヘルパーは学んで力をつけています。組合員の皆さん、ぜひ頼って下さいね。

5年連続仲間増やし目標700人達成に向け 地域が見えていますか？ 地域の声が聞こえていますか？ 城南3法人「仲間増やし月間を成功させよう！」 職員集会に91人が参加

秋の仲間増やし強化月間がスタートしました。
城南3法人では、月間前のスタート集会の位置づけとして「職員集会」を9月27日(火)に開催しました。
当日は、「城南保健生協活動全般の報告」「若返り班の取り組み」「よろず相談の今までのこれから」「城南3法人で力を



地域に根付いた医療介護・まちづくりを

安関連法強行採決から1年、今年の月間は特別な意味を持つ月間に
9月19日(月)、雨にもかかわらず、国会周辺に2万人を超える人が集まりました。思いは一つ、

健康は平和であってこそ
今後、憲法改正の動きが強まる中、2016年度の月間はこれまでの月間とは違う大きな意味を持つ月間と捉えています。
私たち城南保健生協は、地域の組合員さんと共同して「健康づくり」を行う医療生協です。日常的には、組合員さんの要求に基づき、健康チェックや青空健康相談などの保健予防活動を旺盛に行っています。日頃から健康について考え、実践することとは大切なことです。しかし、

合わせて誰もが安心して住み続けられるまちづくりを」の発表の後、3人組に分かれてトリオセッション(感想や意見を出し合う)を行いました。
さあ、これから職員と組合員が力をあわせて地域訪問行動を行います。お元気ですか？
「お困りの事はありますんか？」
「区民健診は受けましたか？」
城南保健生協にぜひご加入ください。いかなる、大きな取り組みにしていきたいと思います。

「安関連法の廃止」です。参議院選挙、東京都知事選挙が終わる、その中で各野党はさまざまな考えの違いはあっても大きな柱は「安関連法廃止」で一致して取り組み、市民との共闘も含め取り組んだことは大きな意義がありました。



トリオセッションの様子

「平和でなければ健康はありえない」という視点では「安関連法」や「憲法改正(9条を变えるなど)」の動きは、断じて許すことができない内容です。2016年度の月間は、健康づくりの大切さを呼びかけていくことはもちろんのこと、憲法改正の動きなども大きく知らせていきます。学習会なども各地で開催する予定です。学び、考え、行動する月間にしていきたいと思います。

秋の仲間増やし月間
10月1日～12月28日
月間目標
組合員630人(年間目標の90%)

お詫びと訂正
本紙10月号「腹八分」7行目「何人かの職員」の命を奪ってしまったのです」は誤りでした。お詫びして訂正いたします。

腹八分

北アルプスは地図上では飛騨山脈と記されています。その名が示すように岐阜県と長野県の県境に3千メートルを超える山が連なっています。しかし、北アルプスは新潟県・富山県も含まれています。名峰立山、剣岳は富山県に聳(そび)える山です。北アルプスの豊富な水は、何本かの急流になって山岳を一気に下り、富山平野を横切り、富山湾に注ぎます。富山湾は水深が深く、富山県は日本一高低差のある県として知られています。美しい自然、豊かな海は富山県人にとって郷土の誇りでした。その富山県でいま、全国の注目を集める事態が明るみに出されました。富山市議会に加えて、富山県議会でも政務活動費の不正受給問題です。富山市議会は議員報酬を非公認で10万円引き上げることを選定。議会でも賛成多数で可決。もともと富山市議会は、1議員あたりの年間質問時間を3時間に制限するなど、密室政治が横行してしました。こんな市議会の運営に疑問を抱いた地方紙が政務活動費の情報公開を求めたのです。多くの市民もそれに呼応しました。そして不正が明るみに出されたのです。いま議会ばかりではなく、同じ不正が国会でも明らかにされています。政権党の中枢を担う官房長官、防衛大臣、総務大臣の疑惑が報道されています。もはや「問題はない」という言い逃れは通用しません。国民には議員の数を減らせばよいという声もあるけれど、大切なのは議会の密塞性と、議員の特権を有権者がしっかりチェックすることです。